

令和5年度加美町「学ぶ土台づくり」事業実施計画

1 目的

幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を築く時期である。この時期を「学ぶ土台づくり」の時期と捉え、以下2点の目的に向けて事業を推進する。

- (1) **か** 加美町の幼児教育の充実に向けて、幼児期の教育や保育の質の向上を目指す。
- (2) **み** 未来の子供達が、安心して小学校へ入学できるように、保幼小の連携を強化する。

2 経過

令和元年度・2年度の2年間、宮城県教育委員会より「学ぶ土台づくり市町村支援モデル事業」の指定を受け、実践研究に取り組んできた。

1年目は、みやざき園と宮崎小学校をモデルとし、先進的な取組を行い、多くの成果を残した。

2年目は、この事業を町内の公立・私立幼稚園、こども園、保育所に広げ、1年目の取組をもとに、町内全ての幼児を対象に取り組んだ。

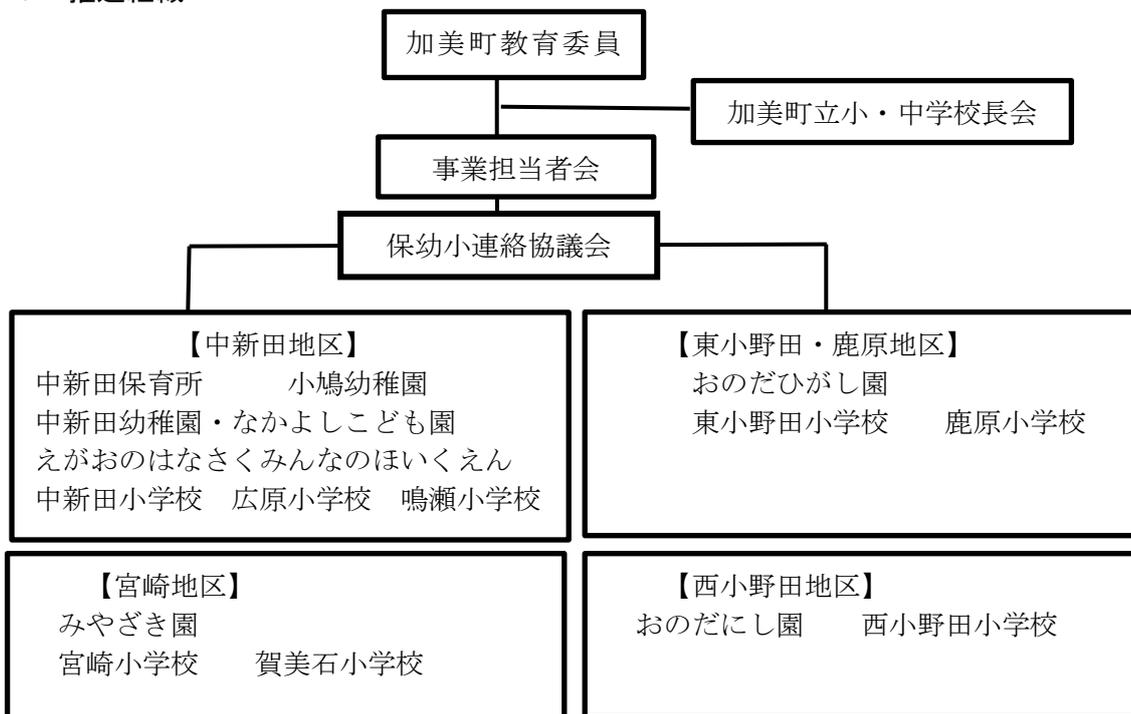
令和3年度に私立「えがおのはなさくみんなのほいくえん（小規模認可保育園）」が参加した。

3 主な取組

令和5年度加美町学校教育の重点施策の一つとして「学ぶ土台づくりの推進」を掲げ、今年度も事業を継続していく。主な取組は以下のとおりである。

- (1) 小学校への円滑な接続を図る
 - ① 保幼小相互の授業を見合い、職員同士の情報交換会（ワンディ研修）
 - ② 幼児と児童の交流会の実施（学校行事の見学、花壇の整備、田植え・稲刈り、おもちゃ祭り等）
 - ③ ワンポイントレッスン（なわとびの仕方、道徳の授業等）
 - ④ アプローチ&スタートカリキュラムの作成
 - ⑤ 保幼小から小学校への情報提供の様式の統一と引継ぎ
「加美町いつまでも支援シート（KISS）」
- (2) 幼児期の教育や保育の質の向上を目指す取組
 - ① 宮城県北部教育事務所指導主事の学校訪問指導の活用
 - ② 発達障害児への対応について学ぶ
・小児科医、作業療法士を講師に研修会を実施
 - ③ 年間指導計画の改善 県幼児教育アドバイザーを講師に研修会を実施
 - ④ 研修会・研究会への積極的な参加 幼稚園教育県大会、宮教大附属園公開

4 推進組織



令和5年度 年間事業計画

月	担当者会・保幼小連絡協議会等	指導主事学校訪問・研修会等
4		
5	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回担当者会 (5/9) ・加美町学ぶ土台事業の確認 ・地区毎の計画 (1学期) ☆第1回保幼小連絡協議会(5/11) ・加美町学ぶ土台事業の確認 ・地区毎の話合い (1学期) 	
6		<ul style="list-style-type: none"> おのだにし園指導主事訪問 (6/8) みやざき園指導主事訪問(6/16) おのだひがし園指導主事訪問(6/21) 西小野田小学校指導主事訪問(6/29)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・教員補助員, 保育補助員の研修会について 	<ul style="list-style-type: none"> 中新田小学校指導主事訪問(7/3) 鳴瀬小学校指導主事訪問(7/7) 鹿原小学校指導主事訪問(7/10) 賀美石小学校指導主事訪問(7/12) 宮崎小学校指導主事訪問(7/14)
8		
9		大崎公立幼・こども園協議会公開研究会 (みやざき園 9/29)
10	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回担当者会 (10/13) ・地区ごとの計画 (2学期) ☆第2回保幼小連絡協議会(10/19) ・地区毎の話合い (2学期) 	宮教大附幼公開研究会 (10/24)
11		<ul style="list-style-type: none"> 教員補助員・保育補助員研修会 東小野田小学校指導主事訪問(11/20) 広原小学校指導主事訪問(11/27)
12		加美町いつまでも支援シート (KISS) 提出
1		<ul style="list-style-type: none"> 加美町いつまでも支援シート (KISS) 評価 幼児教育研修会 (保育士, 保育教諭等)
2		特別支援教育に関する研修会 (小・中学校特別支援学級担任等)
3	<ul style="list-style-type: none"> ○第3回担当者会 (3/6) ・今年度の成果の確認 ・来年度の方向性について☆第3回 ☆保幼小連絡協議会 (3/11) ・アプローチ&スタートカリキュラの振り返り ・今年度の成果の確認 ・来年度の方向性について 	

令和5年度 加美町「学ぶ土台づくり事業」グランドデザイン

【目的】

- 1 **か** 加美町の幼児教育の充実に向けて、幼児期の教育や保育の質の向上を目指す。
- 2 **み** 未来の子供達が、安心して小学校へ入学できるように、保幼小の連携を強化する。

【重点努力目標】

～ 保幼小のなめらかな接続を目指して ～

【今年度の努力事項】

1 幼児期の教育や保育の質の向上を目指す

(1) 保幼相互の授業を見合う

- ①指導主事学校訪問指導の活用
- ②出前授業の活用

(2) 幼児教育アドバイザー（県）の活用

- ①保幼小合同研修会の開催
- ②定期的な訪問による指導・助言

(3) 発達障害児への対応について学ぶ

- ①教員補助員研修会の開催
- ②保育補助員研修会の開催
- ③加美町の公認心理師の活用

(4) 研修会・研究会への積極的な参加

- ①「学ぶ土台づくり」研修会（県主催）
- ②幼稚園・こども園教育研究県大会
- ③宮城教育大付属幼稚園公開研究会 等

2 小学校への円滑な接続を図る

(1) 交流会や情報交換会の開催

- ①幼児と児童の交流会の実施
- ②授業参観・情報交換（ワンディ研修）
- ③ワンポイントレッスン

(2) 加美町保幼小接続期カリキュラムの活用

- ②加美町アプローチ・スタートカリキュラムの活用・改善

(3) 発達に課題のある幼児の早期発見と支援継続

- ①保育所、幼稚園から小学校への情報提供の様式の統一（加美町いつまでも支援シート：KISS）
- ②発達障害児の理解を深める研修会への参加

(4) 保幼小連携アドバイザー（町）の活用

- ①幼稚園、小学校の両方に勤務経験者
- ②保幼小連携事業推進への助言

- ◇基本的な生活習慣の形成（ルルブル：しっかり寝る・きちんと食べる・よく遊んで健やかに伸びる）
- ◇学力向上に関する5つの提言の取組（提言1：どの子にも声を掛ける 提言2：子どもをほめる）
- ◇メディアとの正しい付き合い方の啓発